

松 風

「松風」(しょうふう)

第 197 号

平成23年11月1日発行
(毎月1日発行)

特定医療法人 万成病院

〒700-0071 岡山市北区谷万成1-6-5

TEL(086)252-2261 FAX(086)254-0800

社会福祉法人 松風会

〒703-8275 岡山市中区門田屋敷4-5-13

TEL(086)273-1123 FAX(086)273-1314

発行人 小林 建太郎

編集人 榎原 伸二

藪野 きょう香

第10回 万成病院院内学会 教育委員会

第10回万成病院院内学会が、平成23年10月17日に開催されました。

「学びでつながるチーム医療」というテーマのもとで、各部署、各職種の様々な取り組みや成果など、10題の演題発表がありました。

《第I部》

座長：ひまわり寮施設長 田淵 泰子

1、認知症患者が自分らしさを発揮出来ることの重要性

～園芸活動を通じた症例の
治療経過より～

リハビリテーション課

作業療法士 小野 貴弘

2、治療合意の形成にむけて

～運動を中心とした介入を通して～
リハビリテーション課

作業療法士 岡田有紀子

3、肯定的作業活動体験を通じた

認知面の変化

リハビリテーション課

作業療法士 奈須亜希子

4、対人関係に不安を抱く患者への
退院支援

～2年間、試験外泊を実施して
見えてきたもの～

生活支援相談室

精神保健福祉士 柴田 憲俊

5、広汎性発達障害をもつ

当事者への支援

～多職種チームでの関わりを
通じて見えてきたこと～

ひまわり寮

精神福祉士 田中 江梨

6、精神科デイケアにおける成人期
広汎性発達障害との関わり

～事例を通して～

リハビリテーション課精神科デイケア
作業療法士 浅沼 真呼

《第II部》

座長：診療部 医師 末藤 淳一

1、認知症患者の

拘束解除にむけての看護

～常同行為を利用しよい方向での
習慣化を目指した取り組み～
看護部 看護師 光森 沙穂

2、入所者の尊厳について

考えさせられた一事例

～終末期家族とのかかわりを通して～
岡山リハビリテーションホーム

看護師 田文久美子

3、患者との距離のとりかた

～巻きこまれ体験を通して～

看護部 看護師

山本 緑、稲木奈々

4、入院高齢者の口腔粘膜上におけ
る薬剤耐性遺伝子(メタロβラク
タマーゼ遺伝子)の保有率の調査

歯科 歯科医師 荻田 典子

今回、いずれの発表も第10回という
節目の回にふさわしいレベルの高い内
容で、職員の研究意欲や学ぶ姿勢が
年々高まっていることがうかがえまし
た。



小林院長の総評では、「広範囲の内
容で密度が濃い発表が多く、10回目を
迎え進歩していると感じられた。一方、
自分自身との関わりからの視点でまと
めるだけでなく、チーム医療という総
合的な視点が必要ではないか」といっ
たアドバイスをいただきました。

アンケート結果では、「それぞれの
職種としての視点、関わりを知ること
ができた」「多職種の特性を活かした
チーム医療の重要性、患者自身を中心
とした情報共有の大切さを感じまし
た」などの意見が寄せられて、万成病
院のチーム医療に、より効果的な発表

となりました。また、「時間不足のため
か質疑応答が少なかった」という意見
もいただきました。いただいたご意見
ご感想は来年度に生かしてまいります。

参加人数は、117名でした。改めて
発表者・研究者・参加者の皆様に教育
委員会一同、感謝申し上げます。

来年度も、第11回院内学会を予定し
ております。各部署の日頃の取り組み
や研究の発表などを通じて、多職種と
の相互理解の機会にしたいとおもいま
すので、演題発表、学会参加への協力
をお願いします。



万成病院 クリスマス会のお知らせ

平成23年12月17日(土)

・演芸会
・喫茶 などなど

楽しい企画を用意して、
お待ちしております。